



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 SDエンターテイメント株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4650 URL https://sdentertainment.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平川 真淳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 佐藤 美幸 TEL 011-860-2525  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,694	△22.9	△209	—	△257	—	△506	—
2020年3月期第3四半期	3,496	△40.8	132	—	87	—	19	△98.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △506百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 21百万円 (△98.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△56.61	—
2020年3月期第3四半期	2.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	6,981	1,590	22.8	177.58
2020年3月期	6,968	2,096	30.1	234.11

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 1,590百万円 2020年3月期 2,096百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の今後の広がりや収束時期を予想することが困難なことから、業績への影響については不確定要素が多く、現時点では業績予想については未定であります。

予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	8,997,000株	2020年3月期	8,997,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	42,988株	2020年3月期	42,988株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	8,954,012株	2020年3月期3Q	8,954,012株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により長期的な悪化が続く中、業種による差はあるものの景気持ち直しの兆しがありましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大により不要不急の外出自粛や営業時間短縮など自治体独自の協力要請もあり、当社グループ事業を取り巻く経済環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、主力であるウェルネス事業において、コロナ禍で利用低下しているフィットネス店舗を「総合型」から混雑を避けた利用がし易い「24時間型」「365日型」への業態変更や、混雑具合をリアルタイムで確認できるアプリの導入などを積極的に推進し業績の回復に取り組んでまいりましたが、当第3四半期連結会計期間においても、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける結果となりました。一方で、保育事業についてはリモートワークが普及するコロナ禍にあっても、子供を預けなければ働けないという実態もあり、安心して利用いただけるよう感染予防対策を徹底し運営を行ってまいりました。また、首都圏を中心に新規保育施設の開園を準備しており、事業拡大を通じて待機児童・女性活躍等の社会課題の解決に取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は26億94百万円（前年同四半期比22.9%減）、売上総利益は24億35百万円（前年同四半期比23.1%減）、営業損失は2億9百万円（前年同四半期は営業利益1億32百万円）、経常損失は2億57百万円（前年同四半期は経常利益87百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は5億6百万円（前年同四半期は四半期純利益19百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高をセグメント別に示すと次のとおりであります。

なお、当第3四半期連結会計期間より、「クリエイション事業」に含めていたインターネットカフェ部門をフィットネスとの相乗効果によるコンバージョンを推進するためフィットネス部門と統合しております。

以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## &lt;事業部門売上高&gt;

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	前年同四半期比 (%)
ウェルネス事業 (千円)	2,024,233	78.7
(フィットネス)	812,668	55.9
(保育・介護等)	1,211,564	108.3
クリエイション事業 (千円)	226,793	68.9
不動産賃貸事業 (千円)	244,152	97.9
その他 (千円)	199,669	57.7
合計 (千円)	2,694,848	77.1

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. ウェルネス事業は、フィットネス部門、保育部門、介護部門の売上高であります。

3. クリエーション事業は、オンラインクレーンゲーム部門の売上高であります。

4. 不動産賃貸事業は、不動産賃貸部門の売上高であります。

5. その他は、通信テレマーケティング部門、カウネット代理店部門等の売上高であります。

## (ウェルネス事業)

フィットネスは、業界全体が新型コロナの影響を大きく受けており、会員の休会・退会が続く厳しい状況が続いておりますが、当社においては、全店舗の料金体系の見直しや入会時のビギナーサポート等のサービスを充実することで、初心者の方でも第一歩を踏み出しやすい環境を整えることに注力してまいりました。また、混雑時の利用を避けた利用ができるよう、総合型ジムから24時間型ジム、365日型ジムへ運営形態の変更を推進し、該当店舗では新規入会数を伸ばすことができました。しかし、新型コロナの影響で休会・退会による会費収入の減少を補うことができず、売上高は前年同期比55.9%となりました。

保育・介護等は、通所介護施設はコロナ禍中の利用自粛があったものの、保育施設は高い定員充足率で推移しており、売上高は前年同期比108.3%となりました。

以上の結果、売上高は20億24百万円（同78.7%）となりました。

## (クリエイション事業)

オンラインクレーンゲーム市場においては、同様のサービスを提供する競合先が増加しており、ユーザーの獲得競争が続いている中、オペレーションの変更、定期的なキャンペーンにより固定客の増加に注力してまいりましたが、コロナ禍の先行き不安から消費意欲低迷の影響を受ける結果となりました。

以上の結果、売上高は2億26百万円（同68.9%）となりました。

## (不動産賃貸事業)

一部空きスペースとなっておりました賃貸オフィスビルにおいて、テナント誘致により新たな賃貸先獲得がありました。

以上の結果、売上高は2億44百万円（同97.9%）となりました。

## (その他)

当社子会社が運営するコールセンター等の通信テレマーケティング事業においては、首都圏での新型コロナ感染症の再拡大による受託サービス業務の減少や商材不足等の影響を受ける結果となりました。

以上の結果、売上高は1億99百万円（同57.7%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は16億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円増加しました。これは主に現金及び預金が2億11百万円増加し、未取還付法人税等が1億60百万円減少したことによるものであります。固定資産は52億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円減少しました。これは主に有形固定資産が26百万円、無形固定資産が16百万円、投資その他の資産が28百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、69億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円増加しました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は27億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億19百万円減少しました。これは主に短期借入金が1億円、1年内償還予定の社債が66百万円減少したことによるものであります。固定負債は26億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億38百万円増加しました。これは主に長期借入金が7億94百万円増加し、社債が2億18百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、53億91百万円となり前連結会計年度末に比べ5億19百万円増加しました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は15億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億6百万円減少しました。これは主に四半期純損失5億6百万円計上により利益剰余金が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は22.8%（前連結会計年度末は30.1%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の今後の広がりや収束時期を予想することが困難なことから、業績への影響については不確定要素が多く、現時点では業績予想については未定であります。

予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	898,863	1,110,332
売掛金	211,094	251,719
商品	25,284	17,155
貯蔵品	25,321	19,652
未収還付法人税等	178,162	17,227
その他	236,434	249,939
貸倒引当金	△1,188	△1,028
流動資産合計	1,573,973	1,664,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,058,777	2,028,431
土地	2,056,724	2,056,724
その他(純額)	161,940	165,607
有形固定資産合計	4,277,442	4,250,763
無形固定資産		
のれん	75,107	58,357
その他	60,076	60,467
無形固定資産合計	135,183	118,824
投資その他の資産		
差入保証金	788,254	788,223
繰延税金資産	12,439	5,547
その他	151,009	129,513
投資その他の資産合計	951,703	923,284
固定資産合計	5,364,329	5,292,872
繰延資産	29,852	23,654
資産合計	6,968,155	6,981,526
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	108,016	101,368
短期借入金	1,360,000	1,260,000
1年内償還予定の社債	354,000	287,200
1年内返済予定の長期借入金	298,582	398,071
未払法人税等	77,805	52,245
賞与引当金	40,199	11,781
店舗閉鎖損失引当金	-	3,510
株主優待引当金	23,000	23,000
その他	627,823	633,119
流動負債合計	2,889,426	2,770,296
固定負債		
社債	911,300	692,800
長期借入金	779,175	1,573,193
繰延税金負債	15,544	15,690
資産除去債務	147,686	172,290
その他	128,778	167,217
固定負債合計	1,982,485	2,621,191
負債合計	4,871,911	5,391,488

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	227,101	227,101
資本剰余金	1,926,351	1,581,362
利益剰余金	△59,018	△220,921
自己株式	△9,684	△9,684
株主資本合計	2,084,749	1,577,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,494	12,180
その他の包括利益累計額合計	11,494	12,180
純資産合計	2,096,243	1,590,037
負債純資産合計	6,968,155	6,981,526

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	3,496,769	2,694,848
売上原価	331,898	259,534
売上総利益	3,164,870	2,435,314
販売費及び一般管理費		
給料	1,099,603	1,009,764
賞与引当金繰入額	15,184	11,781
退職給付費用	11,091	9,928
株主優待引当金繰入額	24,041	17,427
地代家賃	370,104	332,370
その他	1,512,490	1,263,740
販売費及び一般管理費合計	3,032,515	2,645,012
営業利益又は営業損失(△)	132,354	△209,698
営業外収益		
受取利息	824	495
受取配当金	792	373
受取保険金	4,042	875
権利金収入	1,157	1,207
物品売却益	1,179	-
その他	4,367	3,358
営業外収益合計	12,363	6,309
営業外費用		
支払利息	35,276	38,172
その他	22,385	15,554
営業外費用合計	57,661	53,727
経常利益又は経常損失(△)	87,056	△257,115
特別利益		
固定資産売却益	7,336	-
補助金収入	157,359	62,222
資産除去債務戻入益	10,636	-
特別利益合計	175,333	62,222
特別損失		
固定資産売却損	246	77
固定資産除却損	7,666	4,981
固定資産圧縮損	151,088	-
減損損失	-	94,736
店舗閉鎖損失	8,605	21,465
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	3,510
新型コロナウイルス感染症による損失	-	100,780
投資有価証券売却損	-	8
解約違約金	-	8,320
特別損失合計	167,607	233,881
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	94,783	△428,774
法人税、住民税及び事業税	63,139	71,147
法人税等調整額	11,993	6,969
法人税等合計	75,133	78,117
四半期純利益又は四半期純損失(△)	19,649	△506,891
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	19,649	△506,891

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	19,649	△506,891
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,636	685
その他の包括利益合計	1,636	685
四半期包括利益	21,286	△506,205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,286	△506,205
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、政府より2020年4月7日に緊急事態宣言が発令されたことを受け、当社グループのフィットネス、インターネットカフェ等の施設においては、各都道府県からの休業要請が解除されるまでの間、臨時休業をしておりました。

当社グループにおいては、当第3四半期連結会計期間末時点で入手可能な情報を踏まえて、主力事業であるフィットネスの休会または退会された会員数が元に戻るには相当の期間を要するものと考えております。当該状況による影響は当連結会計年度以降においても一定期間続くものとして仮定の一部を変更し、繰延税金資産の回収可能性の判断や固定資産の減損損失計上要否の判断を行っております。

なお、本感染症の影響は不確実性が大きく不透明であるため、仮定と異なった場合には、固定資産の減損損失が今後発生する可能性があります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。